

## 人材育成に関する課題

### 1. 背景

近年、電子制御による新しい技術の利用が広がっており、これらに対応した点検整備の実施体制を確保するため、自動車メーカー、養成施設、整備事業者、行政で勉強を行い、人材育成の現状を把握するとともに、その課題について整理した。

### 2. 自動車整備士制度の現状（意見・要望等）

整理した主な現状は次のとおりである。

- ・ 自動車整備士の資格区分について、「一級、二級、三級の種目が細分化されすぎているので、整理・統合など、見直しが必要だ。」という意見がある一方で、資格取得希望者が実際に必要な知識及び技能を効率よく習得できることや、資格取得の可能性が広がることから現行のままでよいという意見もある。

また、今後、普及が急速に進むと考えられるハイブリットや電気自動車について、新しい種目を創設すべきという意見もある一方で、電気自動車などの新しいシステムが出現するたびに新しい種目を設けるよりも、現状の資格区分の中で、新技術の教育を追加することで対応すべきという意見がある。

- ・ 養成施設のカリキュラムや教育内容については、必要な知識及び技能を効率よく習得できるよう、各種養成施設が定めているところであるが、新技術に対応した自動車整備士を技術教育という観点のみならず、一級、二級、三級それぞれの自動車整備士が整備の現場で対応できる人材として育成することが重要である。

新技術に対応した自動車整備士を育成する観点からも、一級整備士は重要であり、整備の現場からも期待されている。その一級整備士取得に対するメリットの付与については、必要であるという意見がある一方で、二級のデメリットが生じるという意見もあり、また、業界に待遇面でのメリットを働きかけるべきという意見がある。

### 3. 人材育成に関する課題のまとめ

整理した主な課題は次のとおりである。

なお、今後どのように人材育成するかについては、整備事業の現場の状況を十分に把握した上で、カリキュラムや教材など養成施設の状況も踏まえる必要がある。

- ① 整備事業の現場は、二級整備士が中心であり、現在は、整備主任者研修（技術）等により新技術に対応しているが、今後二級整備士をいかに育成するかが重要と考える。そのためにも一級、二級、三級それぞれの自動車整備士が担う役割を明確にし、どのような知識や技能を求めるかについて、下級種目から上級種目へ順次育成していくことを踏まえ検討が必要である。
- ② 一級整備士は、新技術に対応した故障診断にも対応可能であることから、継続的な養成が必要と考える。そのためにも一級整備士取得のメリットについて検討することが望まれる。